

評価・標準化研究会

本研究会が発足して10年が経過しました。当初の設立趣意書にも予想されたように、リモートセンシングの技術自体は昨今の環境問題の深刻化と共に広く世に知られる様になり、その期待はますます大きくなってきています。また、コンピュータの性能の飛躍的向上や数値標高モデルや放射伝達モデルなどが手軽に使えるようになってきたこともあり、衛星画像処理の方法にも進展が見られています。しかし、これらの成果はまだ確立したものとは言えず、一般の利用者には良く知られていません。実利用を進展するためには、これらの手法の評価と標準化を行ない、それらを一般の利用者にお知らせし、リモートセンシングによって提供される情報の信頼性を向上させることが不可欠です。

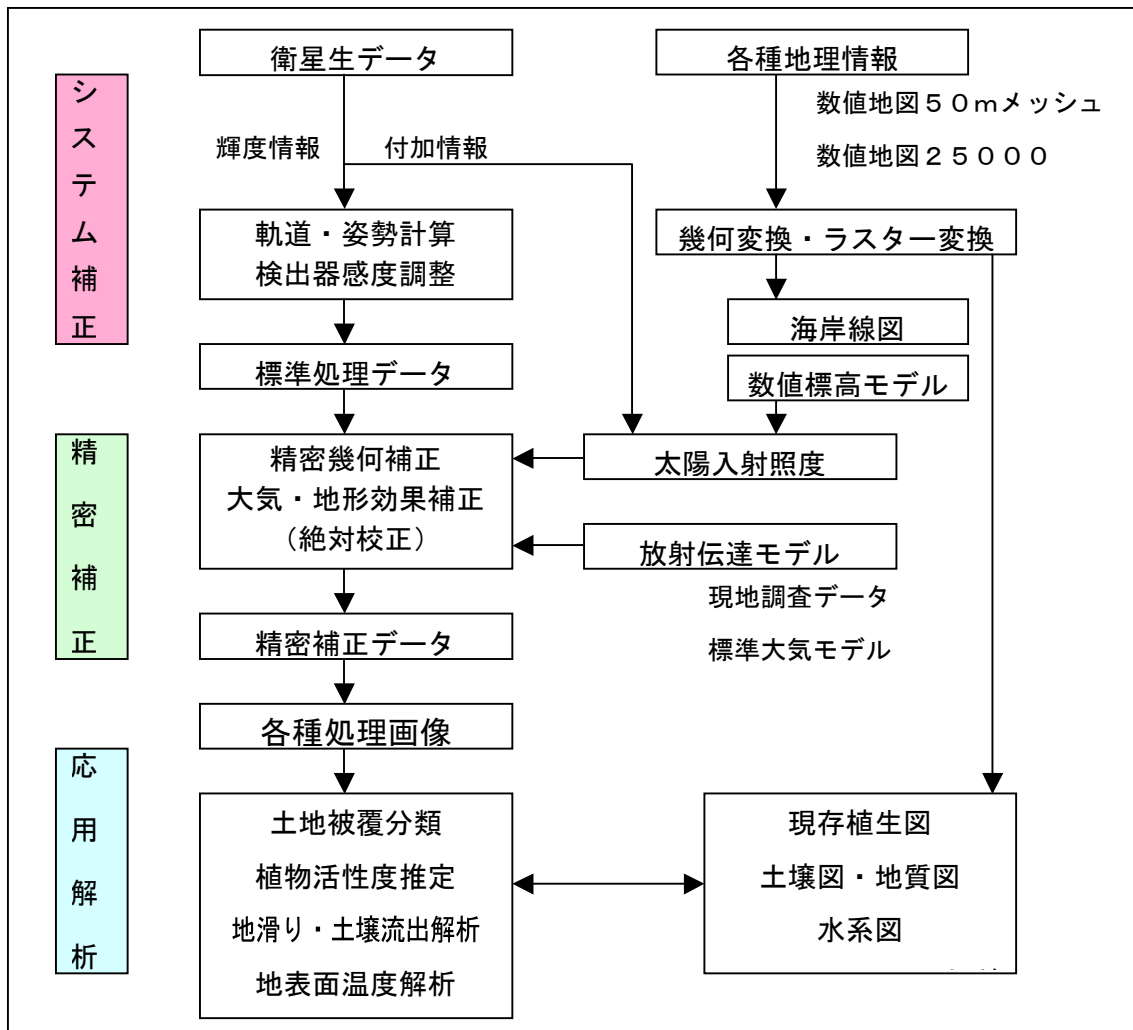
本研究会では、各種の衛星画像処理手法の標準化や用語の統一を行なうとともに、誰もが自分の処理手法を評価できる標準データセットの充実や評価方法の統一化・標準化に関する会員の研究を支援していきたいと考えています。



<<研究テーマ>>

- 1) 精密幾何補正法の評価方法と標準化
- 2) 大気効果補正法の評価方法と標準化
(放射伝達モデルの利用方法を含む)
- 3) 地形効果補正法の評価方法と標準化
(数値標高モデルの利用方法を含む)
- 4) 土地被覆分類法の評価方法と標準化
(領域分割およびカテゴリー分類手法の評価を含む)
- 5) その他、標準化を必要とする計測データ処理手法の検討
- 6) リモートセンシング関連用語の標準化、など

＜＜衛星画像処理の流れ＞＞



＜＜主な活動＞＞

- 1) ホームページ (<http://gosei.mech.hirosaki-u.ac.jp/~rssj>) を作成しました。
- 2) 会員のためにメーリングリストを運用しています。
- 3) 上記で話題になり、具体的な検討が必要になったテーマについて研究会を開催します。
- 4) 標準化すべき基礎データやソフトを検討します。

研究会への入会を希望する方は幹事までお知らせください。

沖 一雄

東京大学 大学院農学生命科学研究科

生物・環境工学専攻 生物環境情報工学研究室

E-mail: agrioki@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

Tel.03-5841-5341(ダイヤルイン)

Fax.03-5841-8175